

審査項目			提案書の記述内容	評価基準	評価割合
大項目	中項目	小項目			

■企画提案書及びプレゼンテーションによる評価

1 導入における体制等の評価					60/210
1-1	他団体における導入実績	過去3か年（令和4年度から令和6年度）の間における，地方自治体又は国における本市図書館と同規模又はそれ以上の規模の図書館情報システムの導入実績（団体名，団体の職員数，導入時期等）と，当該実績が本調達に寄与する理由を記載する。	本調達を安心して依頼できるか判断するため，提案者の類似案件の導入実績が豊富であるか，それがどの程度本調達に寄与すると言えるかを評価する。	6点	
1-2	プロジェクト実施体制	仕様書に定める内容を実現するために必要な，設計・構築から保守運用まで，本調達全体における提案者側のプロジェクト実施体制を，具体的な体制図等で示し，また要員の持つ資格・経験等も具体的に記載する。	本調達を円滑に実施するために十分なプロジェクト実施体制を提案者が用意しているかを評価する。	9点	
1-3	導入スケジュール	システム導入に係る全体・業務ごとの詳細スケジュール案を，想定されるリスク（遅延や問題発生）に対する解決策や，本市図書館側との役割分担を考慮しながら記載する。	システム導入に係るスケジュールが，リスクを想定した上で確実に目的達成できるものであるか，また，本市図書館側の負担についても考慮されているかを評価する。	15点	
1-4	現行システムからのデータ移行	現行システムで保有している各データを新システムへ移行する方法等を記載する。	現行システムで保有している各データ（書誌，資料，利用者，貸出・予約，統計）及び事務処理に使用している共有データベースのファイルを業務に支障を来すことなく新システムへ移行できるかを評価する。 また，データの移行に当たり，令和7年度の統計業務に支障がないかどうか評価する。	12点	
1-5	システムテスト	新システムへの移行時におけるシステムテストの実施方法等を記載する。	新システムへの移行時に，必要なシステムテスト及びテスト後の検証期間が十分に行われるかを評価する。	9点	
1-6	現行システムからの移行作業に係るシステム主管理職員の負担軽減	新システムへの移行作業における，本市図書館職員の負担軽減のための取組について記載する。	新システムへの移行作業において，移行時及び移行作業後に本市図書館職員の負担を軽減する取組が示されているかを評価する。	9点	

審査項目			提案書の記述内容	評価基準	評価割合
大項目	中項目	小項目			
	2 システム要件				54/210
	2-1	システム全般（性能，操作性，可用性等）	システム全体を通じた性能，操作性，可用性について記載する。	システムの性能（処理速度，複数業務画面の並行接続など），操作性（画面の分かりやすさなど），可用性（障害発生時の業務継続性，データバックアップ，パフォーマンスの維持など）が十分であるかを評価する。 また，新たに導入予定の新機能（マイナンバーカードを図書館カードとして使用できる機能，スマートフォンの通信アプリを活用した情報発信，予約及び督促機能）が利用者の利便性の向上と本市図書館職員の業務効率化につながるかを評価する。	15点
	2-2	本市図書館業務への課題に関わる提案	様式4において課題として示した，本市図書館業務における人員減及び業務量の増加に対するDXを用いた解決方法について，具体的な提案を行う。	様式4において課題として示した，本市図書館業務における人員減及び業務量の増加に対するDXを用いた解決方法について，カウンター業務の効率化と本市図書館利用者の利便性の向上に重点を置いて評価する。	21点
	2-3	情報セキュリティ対策	図書館情報システムで実現する情報セキュリティ対策について，具体的な提案を行う。	導入する図書館情報システムで実現する情報セキュリティ対策の提案が，基本仕様書8に掲げる各項目について記載されており，実現可能でかつ本市図書館職員の利便性を損なうことなく実施できる仕組みとなっているかを評価する。	9点
	2-4	ネットワークの設定及び信頼性	利用者の利便性向上のための利用者向けのフリーWi-Fi環境の構築について記載すること。 また，フリーWi-Fi及び図書館情報システムの安定運用を維持するための仕組みを具体的に提案する。	利用者向けのフリーWi-Fi環境の構築における対象範囲及び回線の安定性について評価する。 また，フリーWi-Fi及び図書館情報システムのネットワークにおいて，安定運用を維持する仕組みが実効性があるかを評価する。	9点

審査項目			提案書の記述内容	評価基準	評価割合
大項目	中項目	小項目			
3 保守運用の評価					51/210
3-1	障害受付体制・障害対応	システム障害に対応する受付体制と、障害対応のサービスレベルの内容を、実際に障害が発生しこれが解決されるまでの過程について、想定される時間や本市図書館側で必要な動きなどが分かるよう、具体的に記載する。	障害発生時の連絡受付体制と、障害発生時の対応内容が十分であるかを評価する。	15点	
3-2	保守・運用支援	図書館情報システムを安定運用するために必要な保守の実施体制、実施内容を具体的に記載すること。また、本市図書館職員が運用するに当たり、職員に専門知識がない場合を想定した上で、運用支援体制を具体的に記載する。	安定して図書館情報システムを維持できる保守体制であるか、また、本市図書館職員による図書館情報システムの円滑な運用を行う支援が十分であるかを評価する。	12点	
3-3	システム外の運用支援ツール開発・保守	機能証明書（別紙１－３）に示していない内容で、システム外のツール（Microsoft Access, Excelなど）の開発により、図書館業務の利便性を図る方法について記載する。	本市図書館の想定する運用支援ツール（統計データの作成補助及び曝書データの確認用）及びその他図書館業務の利便性を図る運用支援ツールについて、利便性向上に寄与しているかだけでなく、当該ツールの操作性と、不具合対応保守の内容について評価する。	6点	
3-4	操作研修及び定例会	システム導入に当たり実施する操作研修及び導入後に発生した課題等を情報交換する場（定例会）の実施内容を記載する。	職員が効率的に操作を習得できるための支援内容（マニュアルの提供、研修内容に関する本市図書館の意向の反映、研修対象者を適切に設定しているかなど）及び導入後の定例会の開催内容について評価する。	9点	
3-5	次回システム更新時のデータ移行の容易性	次回システム更新の際のデータ移行に係る考え方について、他ベンダーへの引継ぎとなる場合及び同ベンダーでの更新となる場合それぞれを記載する。	次回システム更新の際のデータ移行における考え方について、費用、業務負担、移行スケジュールについての記載内容を評価する。	9点	
4 その他					6/210
4-1	仕様書に記載されている事項以外で業務全般を向上させるための提案	仕様書に記載されている事項以外で業務全般を向上させるための有効な提案があれば記載する（ただし、無償で対応できるものに限る。）。	提案内容について、経費削減、業務負担軽減、導入の容易さについて評価する。	6点	

審査項目			提案書の記述内容	評価基準	評価割合
大項目	中項目	小項目			
■ 機能に対する評価					18/210
	業務機能要件	機能証明書（別紙１－３）に記載された各業務機能要件について、「標準機能で対応可」「カスタマイズで対応可」「対応不可」で回答する。	（事務局にて事前採点） 機能証明書（別紙１－３）に記載された各業務機能要件について評価する。	18点	
■ 価格に対する評価					21/210
	図書館情報システム賃貸借料	旭川市図書館情報システム賃貸借の賃貸借料の参考見積額を記載する。	（事務局にて事前採点） 賃貸料の参考見積額について、予算額と最低見積額から評価する。	21点	
■評価点合計					210点